

なにを
してるの？

さいかい はっ

再開発って
なんだろう？

なんで
必要なの？

令和8年8月19日(水)
福島駅東口再開発 現場見学会

さいかいほう
こ
子ブタの再開発
ちから あ あんぜん つく
～力を合わせて安全なまちを作ろう～



作：福島市役所市街地整備課

^{へいわ} ①平和なまち

あるところに、

たくさんのフタさんたちが^{なかよ}く暮らす、

あたたかいまちがありました。

みんなのお家は^{うち}木や^き草でできていて、

のんびりとした^{へいわ}平和な^{まいにち}毎日を

^す過ごしていました。



② ボロボロになったお家^{うち}

しかし、

なが^{なが}ねんげつ^{ねんげつ}た^た長い年月が経つうちに、

みんなの住むお家はすっかい古く、^す^{うち}^{ふる}

ボロボロになってしまいました。

そこへ、おそろしいオオカミがやってきて、

フーフーと息を吹きかけると、^{いき}^ふ

お家は簡単に^{うち}^{かんたん}

吹き飛ばされてしまったのです。^ふ^と

※このお話のなかで『オオカミ』は『災害』を^{さいがい}
イメージしています。



③ ^{たいさく} ^{かんが} 対策を考えよう！

^{うち} ^{こわ} お家を壊され、

オオカミから^{のが} ^こ 逃れた子豚たちは、

ガタガタと^{ふる} ^あ 震え上がりました。

「このままでは^{あぶ} 危ない！

オオカミが来ても^き ^{ぜったい} ^{こわ} 絶対に壊れない、

^{つよ} ^{あんぜん} ^{うち} ^{つく} 強くて安全なお家を作ろう！」

^こ 子豚たちは^{たいさく} ^{かんが} 対策を考えることに
しました。



④ ^{うち} ^{つく} こんなお家を作りたい！

^{ちやうなん} ^い
長男フタは言いました。

「^{がんじょう} ^{うち} ^{つく}
レンガの頑丈な家を作ろう！

^{おお} ^{がんじょう} ^{うち}
大きくて頑丈なお家なら、オオカミが
^き
来てもこわくないぞ！」

^{じなん} ^い
次男フタも言いました。

^{みち} ^{ひろ}
「道も広くととのえよう！ そうすれば、

^{とき}
いざという時に、オオカミがきても

^に
逃げやすいぞ！」



⑤ でも、お金はどうしよう…？

でも、三男さんなんづたが首くびをかしいげて言いました。

「とてもいいアイデアだけど、

そんな大おおきくて頑がんじょう丈うちなお家や

広ひろい道みちを作るお金つくなんて、僕かねたちは
も持もってないよ……どうしよう…？」

大おおきいお家や広うちい道ひろを作るには、
小みちさい材料つくを買かったり、作つくったりするために

その材料ざいりょうを買かったり、作つくったりするために
お金かねがかかります。

みんな、困こまってしまいました。



⑥ 長男ちやうなんツタの名案めいあん

すると、長男ちやうなんツタがポンと手てを叩たたいて
言いいました。

「そうだ！ みんなのバラバラな土地とちを
一ひとつに合あわせよう。

そこに、『みんなが住むためのお家』と、
『新しい仲間が住むための大きなお家』を
一いっしょに建たてるんだ。

その大きなお家の一お部うちを新いちぶしい仲あた間なかまに
か
買うってもらえば、その売かれたお金で、

みんなの安全あんぜんなお家も広うちい道ひろも作みちれるよ！」

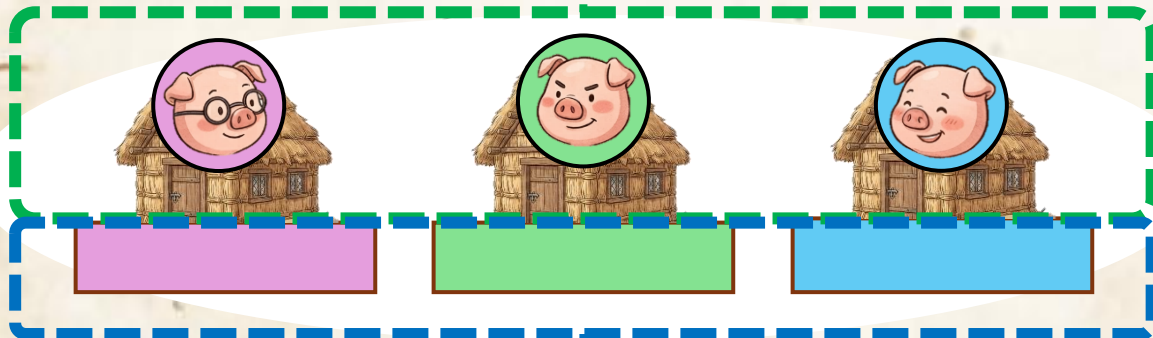


みんなで
大きいお家に
住んじゃおう

大作戦

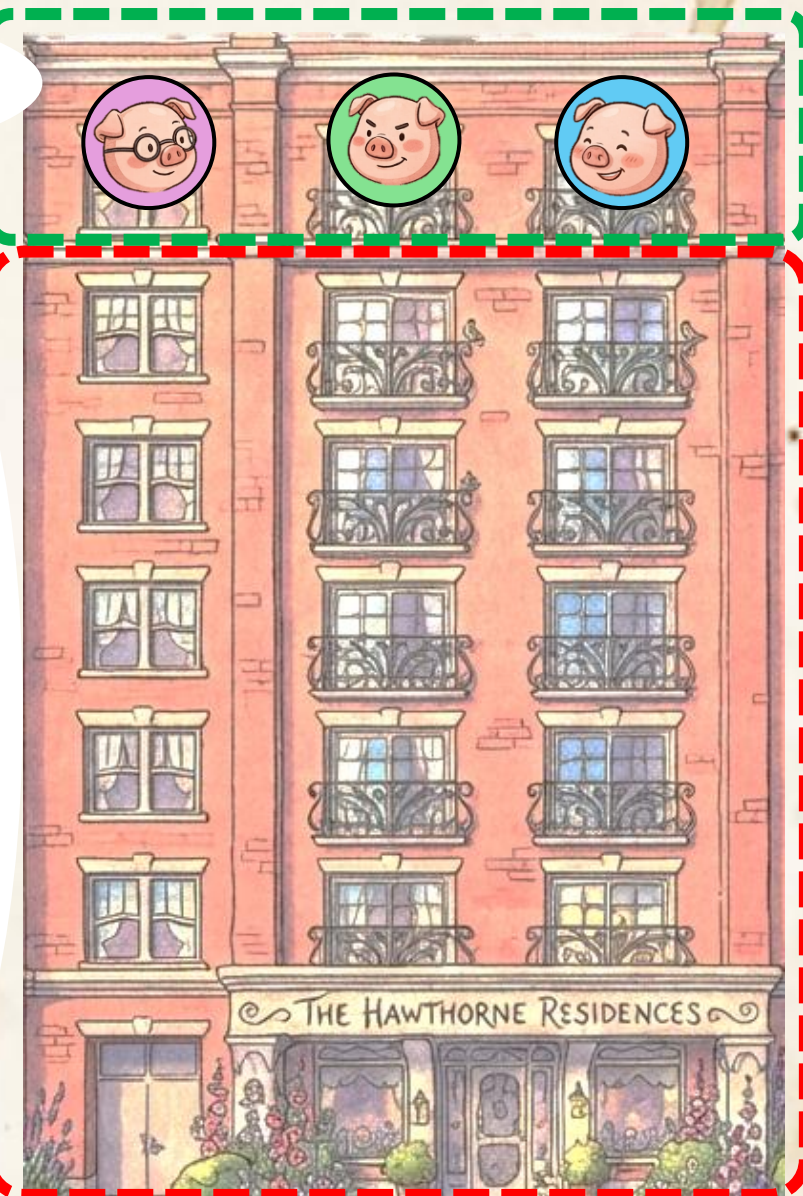
だいさくせん

あたう うち ひっこ
③ 新しくったお家にお引越し！



① バラバラだった
みんなの土地を合体！
どち がったい

② 大きくなった土地に、新しく大きな
お家を建てよう！
おお うち とう あたう おお



④ ほかのまちのフタさんに
売って、住んでもらおう！
う す

⑦ みんなで協力、

新しいまちの誕生

「それはすごい！」

村のみんなは大賛成し、

力を合わせて土地を一つにまとめました。

空高くそびえる、レンガと鉄でできた

頑丈で大きなお家が建つと、

新しいお店やたくさんの仲間がやってきて、

村は前よりもっとにぎやかになりました。



⑧ オオカミの襲来と勝利

そんなある日、

あの恐ろしいオオカミが

再びやってきました。

オオカミは「フーッ！」と息を

吹きかけましたが、みんなで力を合わせて
作った大きなお家は、ビクともしません。

オオカミは

「こいつは手強いぞ……」

とすごすご諦めて、

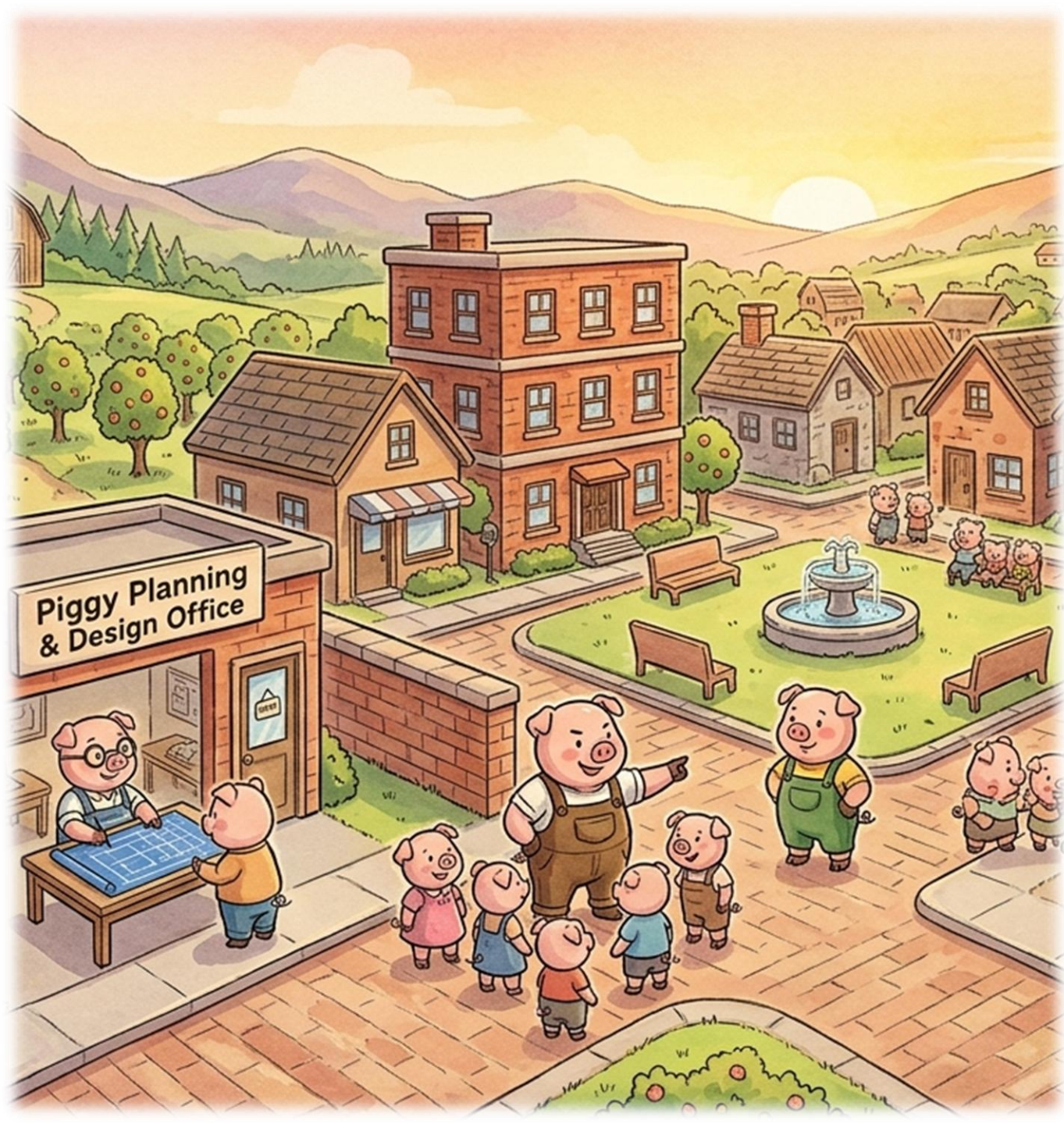
遠くへ逃げていかざるをえませんでした。



⑨ 生まれかわったまち

こうして、みんなの力を合わせて
生まれ変わった新しいまちは、
いつまでも安全で、末永く栄えました。
フタさんたちも、このあたらしいまちで
あたたかく、豊かに暮らしましたとさ。

めでたし、めでたし。



えきまえどお

「むかし」のふくしま駅前通り

えき
ふくしま駅のまわりには、

なかごう おお みせ
『中合』をはじめ、多くのお店が

かっき
あり、とても活気にあふれていました。

きゅうじつ えきまえどお
休日の駅前通りは、

ほこうしゃてんごく
『歩行者天国』となし、

おお きゃく
多くのお客さんで、にぎわっていました。



昭和30年代の駅前通り



昭和50年代頃の駅前通り

えきまえどお

「いま」のふくしま駅前通り

しかし、この20年、

オフィスビルなどの

ある程度大きな『はたらく場所』が

新しく建設されておらず、

そこで『はたらく人』、

そこで『商売する人』、

そこに『暮らしていた人』などのうち、

まちの外に出て行ってしまった人もいました。



『はたらく場所』がない

お金をかせぐ場所がないのでは
生きていけない！...

仕方がないから、まちを出て、
まちの外ではたらいて暮らそう...



そこで生活しているフタがいなければ、
『はたらく場所』をつくっても仕方ないし、
商品も売れなさそうだ...

商品が売れないから、
このまちでお店を出すのはやめておこう...



いつか、
まちからは、誰もいなくなってしまう...

... かもしれない！

そうはさせないぞ!!!



たてもの

そと

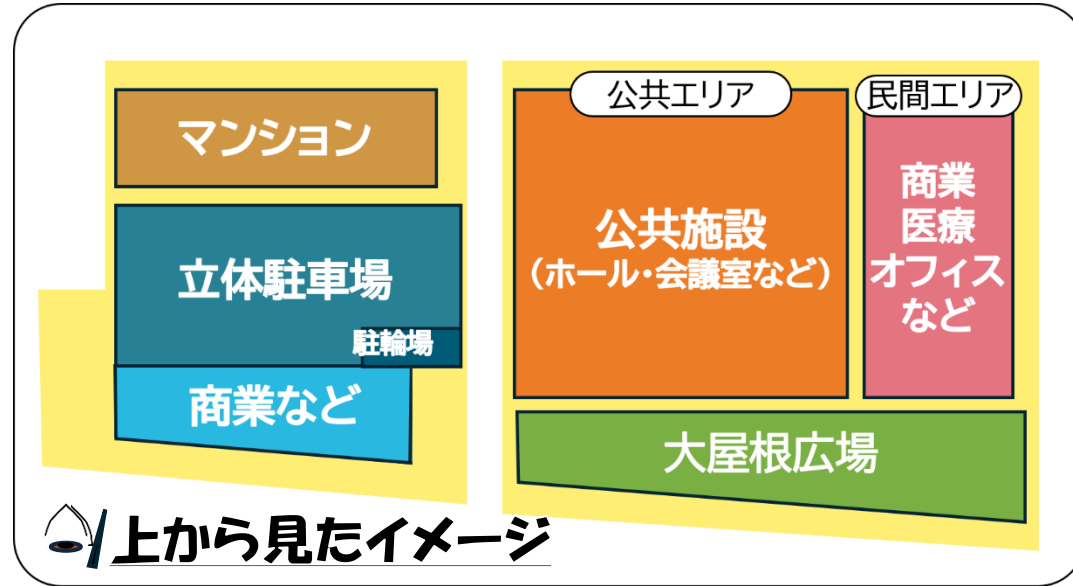
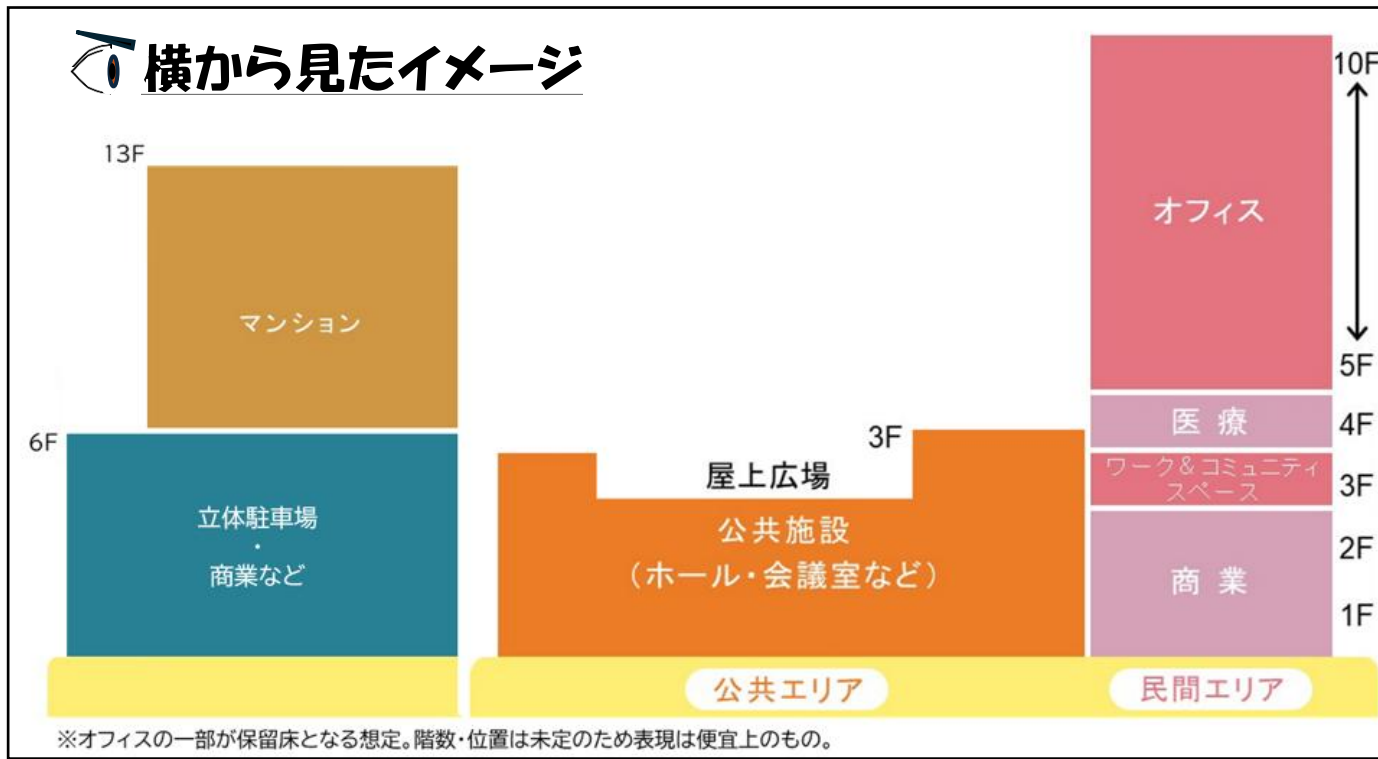
どんな建物ができるのかな？（外がわ）①



どんな建物ができるのかな？（外がわ）②

たてもの

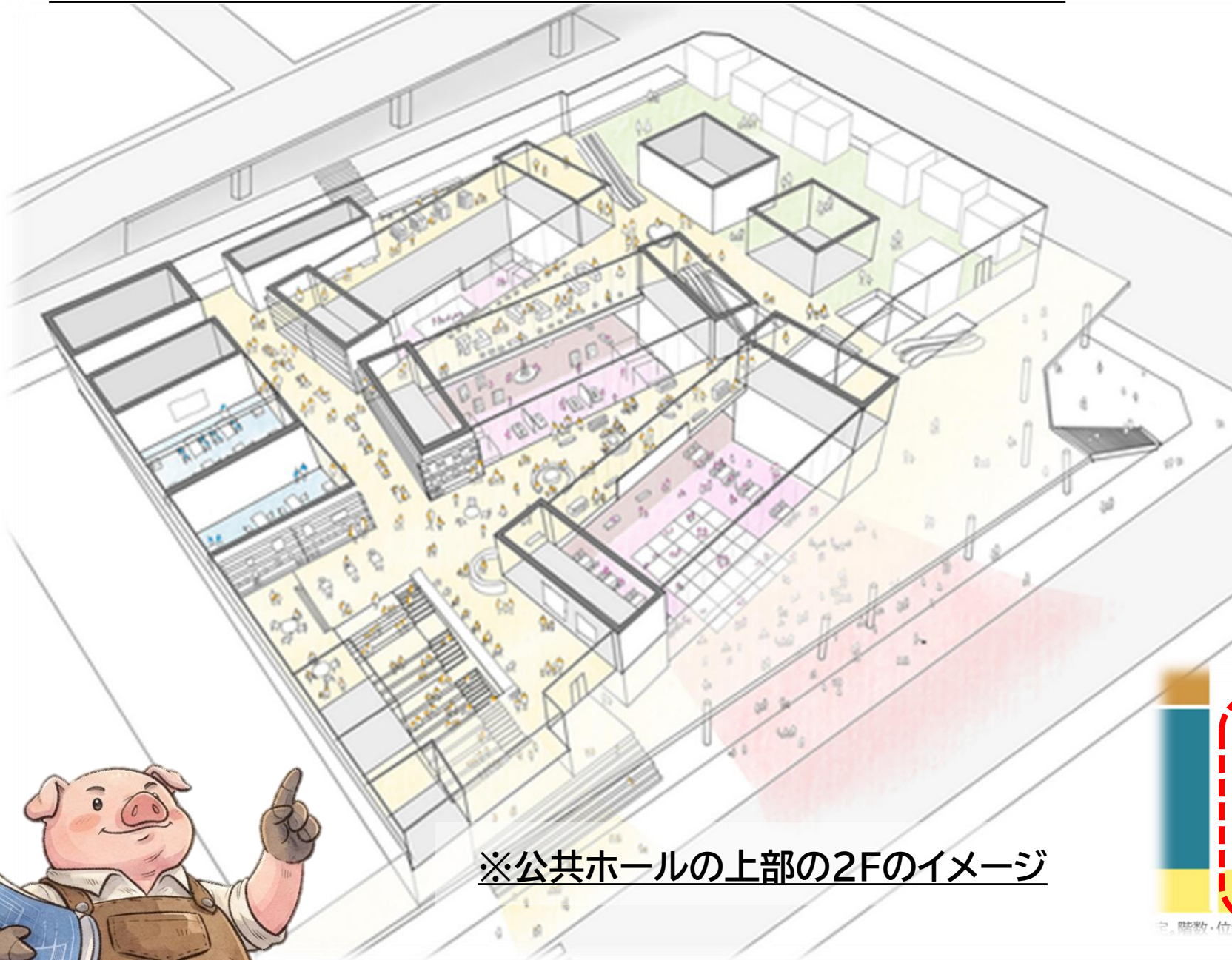
そと



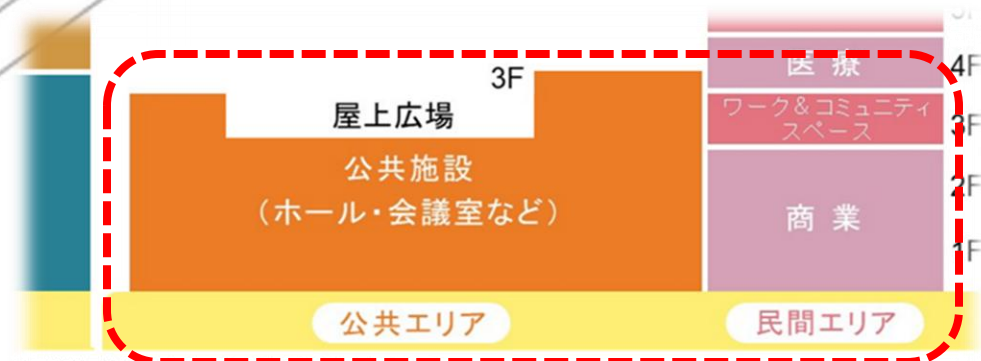
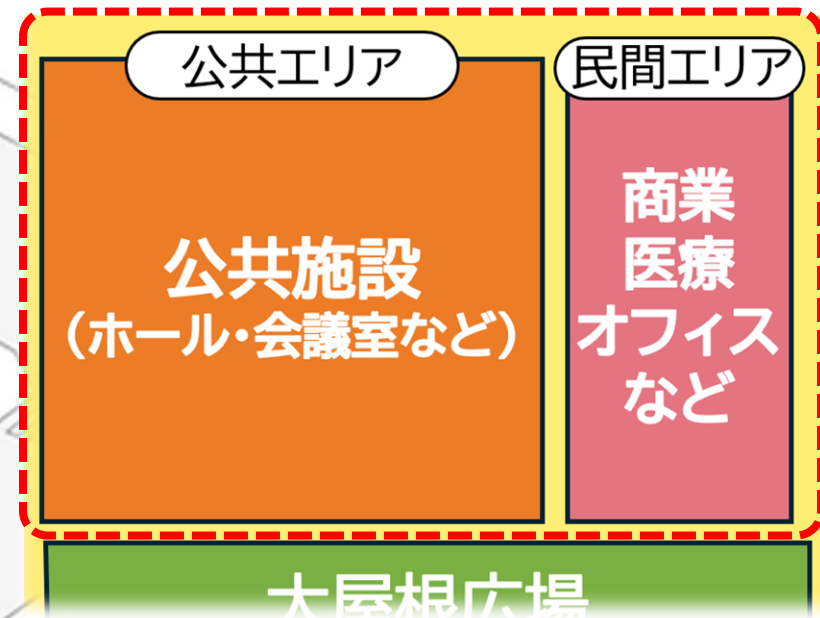
どんな建物ができるのかな？（内がわ）

たてもの

うち



※公共ホールの上部の2Fのイメージ



※階数・位置は未定のため表現は便宜上のもの。

1階 フレキシブル・ホール



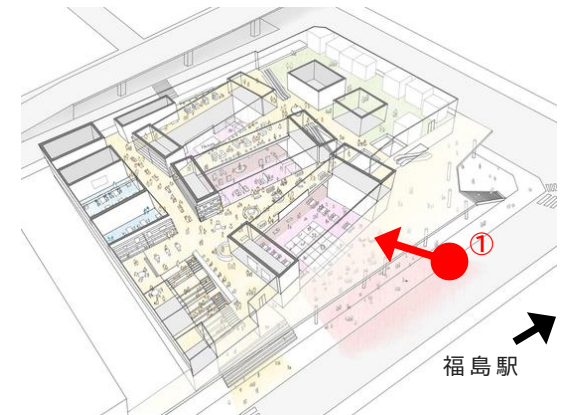
▲①から見た普段のイメージ



▲①から見たイベントの時のイメージ

こんなことができる！

- ・ まちに住む人の日常利用
- ・ 1,000人規模のあつまり
- ・ とくさん品などのはんばい会
- ・ 音楽やスポーツのイベント など



公共エリア

1階・中2階・2階 まちなかりビング・小会議室・中会議室



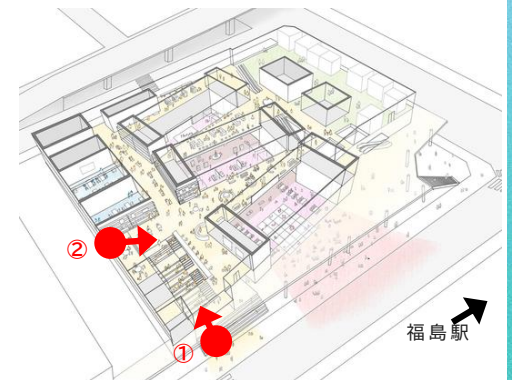
▲ ①から見た1階 まちなかりビングのイメージ



▲ ②から見た2階 まちなかりビングのイメージ

こんなことができる！

- ・ すわれる大きな階段。
- ・ のんびり過ごしたり、友だちと交流する。
- ・ 作品の展示にふれる。



2階 まちなかりビング・中会議室



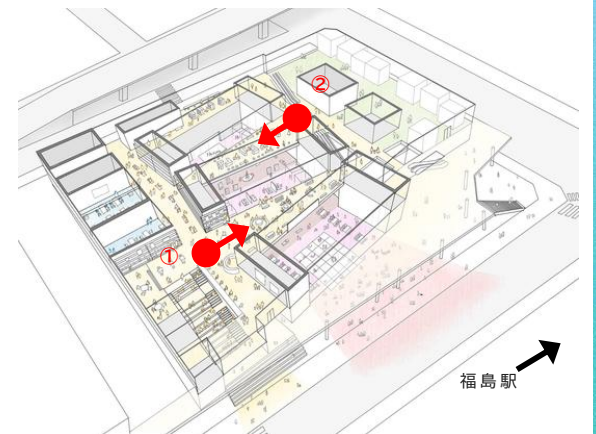
▲①から見たイメージ



▲②から見たイメージ

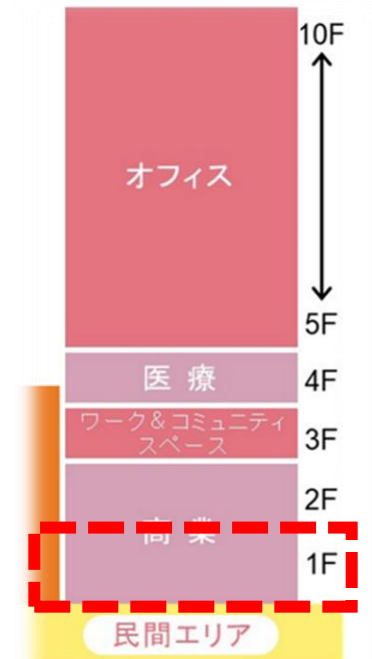
こんなことができる！

- 作品の展示
- 中会議室では、工作や映像の制作など興味を持ったことを試せる。
- たくさんの人をまねいて、パーティー会場に。



民間エリア

1階 カフェ・物販など



こんなことができる！

- ・ ゆっくり過ごしたり、買い物したり。
- ・ フレキシブル・ホールといっしょに大きいイベントも開催できるかも？

民間エリア

2階 フードホール

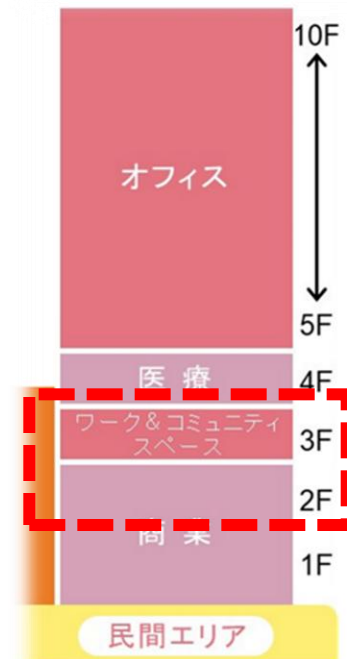


- ・ だれでも好きなものを、
同じテーブルで食べられる。
- ・ (株)USEN Propertiesと企画中。

3階 SHARE LOUNGE



- ・ 休けい施設のような居心地の良さと、
オフィスのような機能性を備えた場所。
- ・ カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)と企画中。

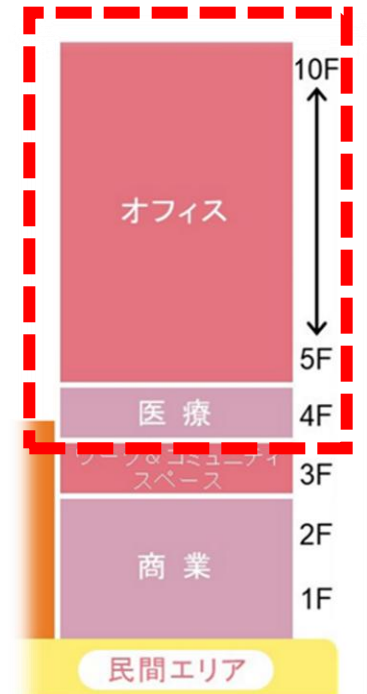


民間エリア

4階 医療モール



5～10階 オフィス



こんなことができる！

- ・ お医者さんが駅からでも通いやすい距離にいる安心感
- ・ 駅から近く、通いやすい職場

まとめ

^{えきまえ}
駅前^{さいかいはつ}の再開発は、

^{みいよく}
『魅力ある場所』^{ばしょ}を作^{つく}って、そこに

『た^{ひと}くさんの人』を呼^よび込^こみ

^{ぜんたい}
まち全体^{げんき}を元気にする！



